

2月5日

## 「新幹線統括本部の設立に伴う東京新幹線保線技術センターの体制見直しについて」提案を受ける！

新幹線統括本部の設立により、新幹線の多くの課題やリスクに迅速かつ効果的に対応できる体制となることに伴い、東京新幹線保線技術センターの体制を見直す。

### 1 実施箇所

東京新幹線保線技術センター

### 2 実施内容

東京新幹線保線技術センターを大宮新幹線保線技術センターに統合する。

### 3 実施時期

2019年4月1日

#### 【提案のポイント】

〈体制について〉

- 東京新幹線保線技術センターは大宮新幹線保線技術センターの派出のような形になる。
- 派出自体には標準数はなく、大宮新幹線保線技術センターとしての標準数になる。大宮新幹線保線技術センターは派出（東幹保）を含めて50名と大宮地本に提案されている。
- 技セが派出になっても異常時含めての体制は変わらない。

〈業務について〉

- 東京新幹線保線技術センターの保守エリアは現行と変わらない。

〈教育について〉

- 大きく業務が変わるわけではないので、現時点において教育を変える考えはない。
- 低速区間（東京～大宮）から高速区間（大宮以遠）への教育は必要により従来通り行う。

〈その他〉

- 派出（現東幹保）の事務所は現行の施設を使用する。
- 新幹線の保線における課題は、人材育成、技術継承、高速化、大規模修繕、リスクは地震などの自然災害対策。
- 今施策に伴う出向はない。

#### **提案を受けるにあたり東京地本の主張！**

- ★安全が大前提であり、大規模障害があった場合でも対応できる教育を求める。
- ★新幹線統括本部の立ち上げの目的を東京からも担えるような体制や人材育成を求める。

## 安全で輸送品質・サービス品質が低下しない施策にしよう！